

各 位

会 社 名 株式会社りそなホールディングス
 代 表 者 名 代表執行役社長 檜垣 誠司
 (コード番号 8308 東証・大証 各市場第1部)

平成 21 年 3 月期 通期業績予想について

当社は、平成 21 年 3 月期通期業績に関し、現時点において以下の通り予想しておりますので、お知らせいたします。

記

I. 通期業績予想〔平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日〕

(単位:億円)	連結業績			単体業績			
	経常収益	経常利益	当期純利益	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) ^(注)	10,000	1,500	1,600	1,800	1,700	1,700	1,900
今回発表予想 (B)	9,700	1,100	1,200	1,800	1,700	1,700	1,700
増減額 (B-A)	△300	△400	△400	—	—	—	△200
増減率 (%)	△3.0	△26.6	△25.0	—	—	—	△10.5

(注) 前回発表予想は、平成 20 年 11 月 14 日に公表した業績予想であります。

【参考】傘下銀行合算の通期業績予想

(単位:億円)					傘下銀行		
	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	りそな信託	合算(概算)	前回発表 予想比 ^(注2)	前年比
業務粗利益	4,340	1,530	600	270	6,750	△90	△250
経費(△)	2,305	750	450	120	3,630	+60	△9
実勢業務純益 ^(注1)	2,035	780	150	150	3,120	△30	△258
株式関係損益	△340	△45	5		△380	△420	+78
うち 減損	△220	△35	△2		△260	—	+7
与信費用総額(△)	1,350	245	90		1,700	△180	△1,313
税引“前”当期純利益	1,510	460	15	150	2,130	△600	△891
税引後当期純利益	(連結納税制度を採用しております)				1,150	△440	△1,451

(注1) 「実勢業務純益」は、信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入前の業務純益

(注2) 「前回発表予想比」、「前年比」欄は、当期純利益に対してプラスに影響する場合には「+」、マイナスに影響する場合には「△」を付しています。

II. 通期業績予想の内容

- 国内株式市場や不動産市況の低迷、並びに内外経済の失速に伴う企業業績の悪化、等により、傘下銀行の業績が予想比減益となる見込みであることから、平成 21 年 3 月期通期の連結当期純利益は、前回発表予想を下回る見込みです。
- 傘下銀行業績の予想比減益は、保有株式に係る減損処理や売却損の計上、並びに予防的な引当を含む与信費用の増加が主たる要因であります。なお、実勢業務純益については、経費の一段の削減に努めた事等から、概ね前回発表予想並みの水準を見込んでおります。
- また、単体当期純利益の予想比減益は、主に、連結納税制度のもと、傘下銀行からの法人税受取額が減少した事によるものです。
- 通期業績の詳細につきましては、5 月 15 日に予定する決算発表時にお知らせいたします。

【参考】その他有価証券の評価差額(傘下銀行合算)の見込

(単位:億円)	平成 21 年 3 月末		平成 20 年 3 月末		増減	
	取得原価	評価差額	取得原価	評価差額	取得原価	評価差額
その他有価証券 ^(注)	70,957	△327	59,385	+1,722	+11,572	△2,050
債券	64,311	△565	51,044	△299	+13,267	△265
株式	3,560	+370	3,825	+2,049	△265	△1,679
その他	3,085	△132	4,515	△27	△1,430	△104

(注) 時価のある有価証券のみを対象としております。なお、「その他有価証券」の時価は、市場価格に基づき算出しております。企業会計基準委員会「実務対応報告第 25 号」を適用した時価の見直し、並びに「実務対応報告第 26 号」を適用した債券の保有目的区分の変更は実施していません。

以上

(注) 上記に記載した予想値については、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績については、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。